

創業十年目に訪れた転機

東京でサラリーマン生活をしてきた私が、父親の死をきっかけに郷里の福岡に戻ったのは昭和五十九年、三十五歳の時でした。どうせやるなら起業家に、と大学時代の友人と大手コンピュータ会社の販売代理店を立ち上げました。

いま思えばお恥かしい限りですが、将来は複数の子会社を設立し月々上納される配当金で生活しようなどと安易なことを考えていたのです。もちろん、そんな甘い夢はたちどころに砕け散りました。子会社設立どころか自社の運営もままならず、運転資金の調達に走り回る有り様でした。

毎日が倒産の恐怖との闘いでした。不安から逃れるように三百六十五日、早朝から深夜までライトバンで営業に駆け、

ずり回りました。数人の社員がいましたが、そもそも設立動機が不純ですからついてきてくれる者はいません。私はイライラを募らせつつも、自ら社員と距離を置き、相変わらず一人だけ忙しく走り回っていました。

創業十年目。過度のストレスと疲労からでしょうか、原因不明の高熱が何日も続きました。それでも休まない私を見かねた医師は「このままだと死ぬ」と宣告。不本意な入院でしたが、親身に治療し看護してくれるスタッフの姿に接し、生かされている喜びと人の愛情をしみじみ味わったのです。張り詰めた気持ちが緩み、ベッドで声を殺して泣きました。

安岡正篤先生や中村天風先生の教えとの出逢いもちょうどその頃です。特に大きかったのは京セラ創業者の稲盛和夫氏が塾長を務める盛和塾への入塾でした。「事業の目的、意義

新しい価値を生み出す 企業であること

を明確にせよ」と教えられた時、私は自分の経営がいかに私心にまみれていたかに気づかされました。そしてこの気づきが我が社の新たなスタートとなりました。

安心計画は、従業員が幸せになる手段

当社は現在、CGや動画、WEBを駆使した仮想モデルルームの制作支援や、住空間シミュレーションソフトの開発を行っています。住宅は一生で一番高い買い物です。建築家の理念をより目に見える形で施主に示すことで、人生計画を間違いないものにしていただく。社名にはそういう願いを込めました。

創業当時、オフィスコンピュータを扱っていた当社の発展の基礎となったのは、コンピュータで住宅立体図面を描くCADの販売を手掛けたことでした。これにCGや動画の技術

安心計画株式会社

代表取締役社長

小山田隆広



が加わり、線だけで表現していた住空間のデザインを、写真のようにリアルに表現できるようになると、私はこれを住宅会社の営業マンのプレゼン用ソフトとして売り出すことを考えました。このアイデアがヒットしたのです。

当社は現在五十一名の社員を擁し、ここ十年間は増収増益を続け格付機関からAランクの評価を得られるまでになりました。私はいつも「安心計画は、従業員が幸せになるための手段として存在する」と話します。逆境の時期、私は従業員をコストとしか見れませんでした。しかし、いま百八十度見方が変わりました。ともに働く従業員が満足するからこそ、会社が発展しお客様にも満足いただけるのです。その思いのもと、従業員とともに新たな価値を生み出し続ける企業でありたいと思います。

取材執筆／致知編集部

- ◆ 住宅営業支援ソフト・住空間シミュレーションソフトの開発
- ◆ CGや動画・WEBによる仮想モデルルームの制作支援

安心計画
Visual Data Sharing



360°パースを
お施主とスマホで共有



住宅営業支援のスペシャリスト集団
安心計画株式会社

商品の詳細はWEBへ!

安心計画 🔍 検索

<http://anshin.co.jp/>